

1. 科目名 (単位数)	生活 (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2308 EDEL3308
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	プレゼンテーション、ディスカッション、グループ学習、フィールドワーク、講義等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	身近な人や社会、自然と直接かかわる具体的な活動や体験の中で、幼児・児童等に生まれる気づきの重要性を理解する。日常生活の中で感じる興味、関心から、自分自身や自分の生活について考えさせ、その過程を通して、基本的な生活習慣、思考力、理解力、社会性を育成する。また、地域の環境や幼児・児童等の発達段階に応じた生活教育のあり方について学ぶ。これらを通じて、児童の自立の基礎作りを行うための指導について、求められる生活科の授業実践の力量(授業力)を身に付けることができるようにする。		
8. 学習目標	1 生活科の活動の構成原理を学び、生活科の趣旨や目標、内容に関するポイントが説明できるようになる。 2 子どもは、普段どんな人々と関わり、何に興味を持っているか、普段の生活の様子を観察することを通して知り、発表できるようになる。 3 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びや遊びに使う物を作ることができるようになる。 4 地域調査や生活科で扱う植物・生き物について調べる活動などを通して、それぞれの地域の自然についてその特徴や面白さについて理解する 5 子どもの生活に関係した、効果的な教材を作ることができるようになる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	【課題レポート】 ・次の1～2を課題レポートとする。 課題1：生活科の学習指導の特質について考察する。 課題2：「はてな?カード」 【振り返りシート】「日常の学習状況」に加味する。 講義の終了後、講義によって何が解決され、何が解決されなかったのか、また、自分自身はどのような考えを持ったのかなどについてまとめ、講義終了の翌日までに提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 生活編』 文部科学省		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生活科の目標や内容、特徴を理解できているか。 2. 生活科の目標や内容、特徴を理解した上で、自分なりの意見や考えを表現できているか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極性 (発言等) 総合点の 20% 2 日常の学習状況 (出席・提出物) 総合点の 30% 3 課題レポート (中間・期末) 総合点の 50%		
12. 受講生へのメッセージ	生活科は、小学校入学期の児童にとって他教科との合科の中で中核となる教科と位置づけられています。「学び」のスタートとしての位置づけは、児童に「学ぶことの楽しさ」を実感させる教師の立ち位置を考慮した指導を目指す必要を強く感じます。 主体的・対話的で深い学びを導く教師を目指すためにも、まず自ら積極的に探究的な課題に取り組むように努めましょう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 生活科の指導案の書き方・評価の考え方 自分で選択した単元に基づいて指導案のポイントを考える。	事前学習	これまで書いてきた指導案について振り返る。
		事後学習	指導案の書き方について整理しておく。
第 2 回	生活科 2 年間の学習内容のつながり 評価規準・評価基準、学習指導要録	事前学習	学習指導要領を読んでくる。
		事後学習	2 年間の学習内容の把握、評価についてまとめておく。
第 3 回	授業者としての意識改革:「教える」とは 「カタツムリの発表」の授業記録をもとに子どもの視点から捉える。	事前学習	指導案を作成する単元を決めておく。
		事後学習	参考になった内容・方法や気づいたこと、感想をまとめる。
第 4 回	気づく力を育てる授業づくりとは アサガオ栽培の実践から生活科教育のあり方を考える。	事前学習	本時の流れについてまとめておく。
		事後学習	教育実習に向けて、作成手順をまとめておく。
第 5 回	教育課程における生活科の位置づけと生活科の単元構成について小学校学習指導要領の変遷から考える。	事前学習	学習指導要領を読んでくる。
		事後学習	新旧の比較を通して、生活科の全体像について捉え、まとめておく。
第 6 回	学習指導要領解説から① 教科目標・教科目標の趣旨について学ぶ。	事前学習	学習指導要領を読み返しておく。
		事後学習	学んだことについてまとめておく。 学習指導要領を読み返しておく。

第7回	学習指導要領解説から② 資質・能力3つの柱について学ぶ。	事前学習	学習指導要領を読み返しておく。
		事後学習	新旧の比較を思い出し、現代に求められている学びのあり方について考察する。
第8回	学習指導要領から③ 内容構成の考え方について学ぶ。	事前学習	学習指導要領を読み返しておく。
		事後学習	生活科の位置づけについて自分なりの考えをまとめる。
第9回	学習指導要領から④ 指導計画の配慮事項について学ぶ。	事前学習	学習指導要領解説を読んでおく。
		事後学習	生活科の特性についてまとめておく。
第10回	教材開発 「はてな？」カードの作成についての視点を話し合う。	事前学習	子どもの時に不思議だなと思った物について、いくつか思い出しておく。
		事後学習	カードの作成について、フィールドワークなどを検討する。
第11回	小学校入学期における生活科の位置づけ 小一プロブレム問題から見える入学期の児童対応における生活科の位置づけを把握する。	事前学習	自分の経験を踏まえながら小学校入学期の児童の姿についてまとめておく。
		事後学習	小一プロブレム問題について説明できるようにまとめをしておく。
第12回	幼保小連携について 連携して子どもの育ちを育むことの意義とその方法について学ぶ。	事前学習	幼保と小学校での環境の違いについて自分の子どもを思い出しまとめておく。
		事後学習	幼保小連携の意義と方法について説明できるようにまとめておく。
第13回	「はてな？」カードの発表	事前学習	自分の経験を踏まえながら幼児教育での幼児の姿についてまとめておく。
		事後学習	友達の発表から学んだことを振り返りシートに書いて提出する。
第14回	「はてな？」カードの発表	事前学習	発表内容をまとめておく。
		事後学習	発表を振り返り、まとめの課題2を作成する。
第15回	生活科と他教科との関連 生活科と他教科・総合的な学習の時間との関連、幼児教育との関連について捉える。	事前学習	生活科のレポート課題をまとめておく。
		事後学習	生活科の意義について、自分なりの考えをまとめておく。
期末試験			